



第2回 異種材料接合技術研究会 (全3回)

主催：(公財)科学技術交流財団 協力：愛知工研協会

昨今、異種材料の接合技術は自動車や電子、電機分野で積極的に利用されており、企業の方々の関心が高まっています。従来では困難とされた異種材料の接合技術の革新は目覚ましいものがあり、新たな材料を組み合わせることで、製品の軽量化や機能・性能の向上、コスト削減に寄与するものと期待されています。

こうしたことから、当財団では企業の方々の新事業創出、新商品開発などに役立ていただくことを目的とし、異種材料接合の最新の状況について、専門家を招聘してご講演いただく研究会を昨年度に続き3回にわたり開催することとしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

《第2回》

日時：平成28年11月28日(月)
13:30~16:50

場所：ウインクあいち 1203会議室
(愛知県産業労働センター)
名古屋市中村区名駅4-4-38

定員：80名(定員に達し次第締め切ります)



(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由 徒歩8分

《プログラム》

13:30~13:35 開会

13:35~14:45 「接着技術の最前線：自動車，船舶，および航空機への適用」

講師 東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授 佐藤 千明 氏

従来より、接着接合は多くの箇所に使用されてきましたが、材料の多様化に伴い、近年、その重要性が増しつつあります。例えば、自動車、船舶、および航空機への接着技術の適用が進みつつあります。本講演では、最近重要になりつつある異種材接合についても言及し、そのニーズと課題について解説します。

14:45~15:00 休憩

15:00~16:10 「塑性流動結合技術の概要とアルミニウムダイカスト材と鋼材の結合への応用」

講師 京浜精密工業株式会社 技術顧問 (元 東京工業大学 教授)

村上 碩哉 氏

塑性流動結合技術は高精度、高強度、かつ生産性の高い結合法として、自動車部品を中心に活用されています。ここでは、その技術の概要と特長を紹介します。また、異材接合の応用事例として、延性の低いアルミニウムダイカスト部品と鋼製軸部品を塑性流動結合することにより、軽量化と低コスト化を実現した事例を紹介します。

16:10~16:50 講師との名刺交換 (自由参加)

◆**今後の予定** ※講師の都合等により、今後の予定については変更となる場合があります。

第3回 平成28年12月20日(火) 13:30~ 於名古屋銀行協会 201会議室

- I…産業技術総合研究所 構造材料研究部門セラミック機構部材グループ 主任研究 北 憲一郎 氏
「有機ケイ素系ポリマーを用いたアルミニウム-セラミックス接合技術」
II…ダイセルポリマー株式会社 新事業企画部 主席部員 柴田 悟 氏
「新しい金属/樹脂接合技術『DLAMP (ディーランプ)』のご紹介」

◆**申込方法** 下記申込書にご記入の上、**11月21日(月)までにFAX又はメール(chusyo@astf.or.jp)にてお申込み下さい。**
科学技術交流財団HPからもお申込みいただけます。
ホームページ：<http://www.astf.or.jp/astf/hukyu/bunya/h28k103.html>

◆**参加費 全3回 5,000円**
(研究交流クラブ会員・愛知工研協会会員の方は3,000円)

◆**お支払方法** 研究会前日までに、以下の銀行口座にお振込み下さい。
振込手数料はご負担願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行『愛知県庁出張所』(店番号191)
口座番号：(普通)1031946
口座名義： <small>コウエキザイダンホウジン カガクギジュツコウリユウザイダン リジチョウ ハマグチミチナリ</small> 公益財団法人 科学技術交流財団 理事長 濱口道成

◆**お問い合わせ先** 当財団 業務部 0561-76-8325

第2回 異種材料接合技術研究会 参加申込書

FAX 0561-21-1651

(公財)科学技術交流財団 業務部 行 担当:山岸/松田

ふりがな	
会社名	
所在地	〒
ふりがな	
所属・氏名	
連絡先	TEL FAX
	メールアドレス

- ※ ご記入いただいた個人情報は、当財団からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。
※ 受講票は発行いたしません。直接会場にお越しください。